

第40回全日本躰道選手権大会
第28回全国少年少女躰道優勝大会

大会実施要項

本案で大会を実施する予定ですので、記載されている内容に沿った練習や予選大会実施の準備を進めて下さい。尚、「大会出場申込書の提出・出場費の納入・理事長推薦書の提出・選手変更の受付・弁当の予約」などの締切日を厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

大会会長

中島章皓

大会実行委員長

加藤康行

大会実施要項

主催：NPO 法人日本躰道協会

後援：文部科学省（予定）・東京都教育委員会（予定）

開催日時：

第 28 回全国少年少女躰道優勝大会：平成 18 年 10 月 28 日（土）

第 40 回全日本躰道選手権大会：平成 18 年 10 月 29 日（日）

会場：東京体育館

〒120-0005 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL 03(5474)2117

J R 中央・総武線各停「千駄ヶ谷」下車 徒歩 1 分

◇28 日（土）第 28 回全国少年少女躰道優勝大会

選手集合：午前 8 時 30 分（役員集合 午前 8 時 10 分）

選手確認：午前 8 時 45 分（競技コートにて）

開会式： 午前 9 時

◆ 29 日（日）第 40 回全日本躰道選手権大会

選手集合：午前 8 時 30 分（役員集合 午前 8 時 10 分）

選手確認：午前 8 時 45 分（競技コートにて）

開会式： 午前 9 時

時間変更の場合は別途ご連絡いたします

※ 選手係りが点呼を取る時点で集合していない選手・チームは棄権とみなされ出場できませんので注意して下さい。

1. 競技種目と出場枠

1) 「第40回全日本躰道選手権大会」

出場種目	出場枠	出場資格	注意事項
男子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	プロテクター着用厳守
女子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	面ピット・プロテクター着用厳守
男子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1.2回戦 転体 ・3回戦 変体 4回戦以降 体 から自由選択
女子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1.2回戦 転陰 ・3回戦 変陰 4回戦以降 陰 から自由選択
壮年法形競技	2名	初段以上 (40歳以上)	1.2回戦 勢命 (表のみ) 3回戦以降 活命・延命 から選択
男子団体実戦競技 (一般の部)	1チーム	初段以上	1チーム男子5名 競技監督1名 プロテクター着用厳守
女子団体実戦競技 (一般の部)	1チーム	初段以上	1チーム女子5名 競技監督1名 面ピット・プロテクター着用厳守
男子団体法形競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム男子5名 体・陰から自由選択
女子団体法形競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム女子5名 体・陰から自由選択
男子展開競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム男女子6名 ※ 女子混合可
女子展開競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム女子6名 背番号制

☆個人種目における推薦出場枠について

前年度、個人種目ベスト3の選手、および今年度社会人大会、今年度全国学生躰道優勝大会、今年度全国高等学校大会の個人種目優勝者は前項で決められている出場枠とは別に申し込むことができます。

※但し、社会人大会および学生大会の優勝者のうち、既に同一競技にエントリーしていた場合、一般出場枠を優先し推薦出場枠は無効とします。(代替選手、準優勝選手の出場は認めません。)

尚、推薦出場枠の選手が入賞した場合、その選手が所属する県・地区の得点となります。

☆出場資格の注意事項

「原則として初段以上」 ⇒ 各県地区理事長の推薦がある場合は2級以上でも可とします。但し、出場申込時に所定の「理事長推薦書」を必ず提出して下さい。

☆展開競技・団体法形競技の決勝戦進出について

展開競技・団体法形競技の予選の結果、各々上位4チームが決勝戦進出となります。(予選のブロック分けはいたしません)

2) 「第28回全国少年少女躰道優勝大会」

出場種目	出場 枠	出場資格	注意事項
男子実戦競技 (中学)	2名	上階4級以上	面ピット・プロテクター着用厳守
(小学高学年)	2名	原則として中階4級以上	〃
女子実戦競技 (中学)	2名	上階4級以上	〃
(小学高学年)	2名	原則として中階4級以上	〃
男子法形競技 (中学)	2名	上階以上	1.2回戦 旋体 3回戦以降 体 から自由選択
(小学高学年)	2名	中階以上	1.2回戦 旋体 ・3回戦以降 旋体 ・ 運体 ・ 変体 から自由選択
(小学低学年)	2名	初階以上	〃
女子法形競技 (中学)	2名	上階以上	1.2回戦 旋陰 3回戦以降 陰 から自由選択
(小学高学年)	2名	中階以上	1.2回戦 旋陰 ・3回戦以降 旋陰 ・ 運陰 ・ 変陰 から自由選択
(小学低学年)	2名	初階以上	〃
団体実戦競技	1チーム	原則として中階4級以上 (男子のみ)	1チーム5名 (中学生2名・小学生3名)
団体法形競技	1チーム	初階以上	1チーム5名 体・陰から自由選択
展開競技	1チーム	初階以上	1チーム6名 背番号制

※少年団体実戦に出場の団体は**出場選手厳守事項⑩**をご覧ください。

☆推薦出場枠の特例

前述の推薦出場枠外でも各県地区理事長の推薦があり、またその理由が明確な場合は実行委員会で出場を認めることもあります。

☆出場資格の注意事項

- ①小学の部「高学年」「低学年」の区別 ⇒ 「高学年」は小学4～6年生
「低学年」は小学1～3年生
- ②「原則として中階4級以上」 ⇒ 各県地区理事長の推薦がある場合は初階(小学3年生以下)でも可とします。
但し、出場申込時に所定の「理事長推薦書」を必ず提出して下さい。
- ③「団体実戦競技」小・中学の部の特別ルールについて
競技監督の指示に従い、中学生は中学生と対戦、小学生は小学生と対戦する方式で行います。(順番は自由)

☆展開競技・団体法形競技の決勝戦進出について

展開競技・団体法形競技の予選の結果、各々上位4チームが決勝戦進出となります。
(予選のブロック分けはいたしません)

実戦競技の競技時間について

各実戦競技の競技時間は下表をご覧ください。

※ 予選競技では延長戦は行いません。

競技 \ 回戦		予選	3位決定戦・決勝戦
一般	男子個人実戦	2分00秒	3分00秒
	男子団体実戦		2分00秒
	女子個人実戦	1分30秒	2分00秒
	女子団体実戦		1分30秒
少年少女	男子個人実戦	1分30秒	1分30秒
	男子団体実戦		
	女子個人実戦		
	女子団体実戦		

2. 出場資格と制限

①出場資格：日本剣道協会に登録されている「一般会員」「正会員」「高校剣道部所属会員」「一般会員」及び「高校剣道部所属会員」は平成18年9月分（第2期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること、「正会員」は平成18年度までの正会員費が支払済みであることとします。

②出場制限：1人2種目（展開競技に出場する場合は3種目も可。）

これに違反した場合は、その該当選手が出場した全種目を失格としますので注して下さい。尚、前年度、個人種目ベスト3の選手、および今年度社会人大会、今年度全国学生剣道優勝大会、今年度全国高等学校大会の個人種目優勝者にもこの出場制限が適用されますので注意して下さい。

3. 出場申込

①「大会種目別出場申込書」に必要事項を記入の上、平成18年8月14日（月）迄に協会本部大会実行委員長宛に提出して下さい。また、「大会種目別出場申込書」とともに「出場選手紹介文」の提出をお願いします。

②理事長の推薦が必要な選手については、「理事長推薦書」に必要事項を記入の上「大会種目別出場申込書」に添付して、平成18年8月14日（月）迄に協会本部大会実行委員長宛に提出して下さい。

（提出が無い場合は出場できませんので注意して下さい）

4. 大会出場費

①金額	全日本躰道選手権大会（一般）	7.000 円
	全国少年少女躰道優勝大会（小学・中学）	4.000 円

※前年度、個人種目ベスト 3 の推薦出場選手がその種目のみに出場する場合は 2.000 円とします。但し、他の種目にも出場する場合は上記①の金額となります。

②大会出場費は「大会種目別出場申込書」の申込内容に基づいて、各県地区で取りまとめの上平成 18 年 9 月 29 日（金）迄に下記の口座へ振り込んで下さい。

銀行名：りそな銀行 中野支店 普通 1 6 3 4 8 4 4
口座名義：トクヒ）ニホンタイドウキョウカイ タイカイカイケイ
特非） 日本躰道協会 大会会計

5. 選手変更について

① 個人種目出場選手の変更は一切できません。

※ ただし、病気・怪我等により出場不可能となった場合には、大会 1 ヶ月前（9 月 27 日）までに限り、実行委員会の了解を得て変更を認めることもあります。

② 団体種目出場選手の変更は 10 月 27 日（金）午後 12 時 00 分までに「選手変更届」を日本躰道協会事務局まで提出してください。試合中の怪我等も含め変更は一切認められません。

出場費を支払っていない選手に交代する場合はその分を追加で振り込むか、当日試合開始までに支払って下さい。ただし、当初の出場予定選手との相殺は認めません。またキャンセルの場合の返金はしません。

③ 上記以外の選手変更は認めませんので、怪我等などしないように注意して下さい。

※競技が始まってから欠場者が発生した場合、団体実戦は該当選手を不戦敗として競技を続行できるが、団体法形・展開は失格となって競技に出場できません。

6. 出場選手厳守事項

①出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいて下さい。

②出場選手は大会当日に必ず「健康保険証」（コピー可）を持参して下さい。「健康保険証」なしで治療を受ける場合、医療費の全額支払を求められ多額の出費をすることになりますので注意して下さい。

- ③選手は日本剣道協会公認の剣道着を着用して下さい。
- ④出場選手は全員、剣道着（背面）に県地区名を記入（例：「青森県」や「東京城西地区」など）したゼッケンを付けて下さい。

大きさ：たて7cm・よこ20cm 布地：白地に黒文字（漢字）

- 注意1) 実行委員会が提示した企画以外のものは認めません。
注意2) ゼッケンを付けていない選手の出場は認めません。（両日共に）
注意3) 団体競技のゼッケンの上位置に県地区名のゼッケンを付けて下さい。

- ⑤展開競技に出場する選手は剣道着の背面部に背番号（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を取り付けて下さい。

主役は頭にハチマキを巻いて下さい。

- ※ ハチマキの色・デザインは自由、幅5cm程度、長さは結んで肩に付かない程度。
※ 背番号は審判員が確認できるように約20cm四方の白布に黒文字。

注意：剣道着の左右の袖上腕部に団体名・個人名を入れたり、一般的な常識の範囲内のマークを取り付けることは認められていますが、剣道着の背面部に所定の背番号以外のものを付けたり、故意に展開競技の背番号に団体名を入れたり、あるいは左胸上の「剣道」のマークを他の物に変えたり、袖口を短く切ったり捲くったりした場合は出場できません。

- ⑥実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターを必ず剣道着の下に着用すること。着用しない場合は失格となります。（女子及び少年少女は面ピット着用のこと）尚、プロテクターはコートに入場する前に着用し、会場内での取り付けは一切しないこと。
- ⑦選手は「競技スケジュール」の開始予定時間10分前までに各競技コートへ集合することを原則とし、館内放送があった場合にはその指示に従って集合し、選手係りの点呼を受けること。
- ⑧2種目に出場する選手で、団体と個人が重複する場合は団体を優先させ、団体種目で重複した場合は実戦→法形→展開の順で優先すること。但し、優先させない種目の選手係にその旨を報告すると共に了解を取ること。尚、競技が重複していて選手が集まらない場合はその団体は後に回し、選手が集まり次第競技に参加します。
- ⑨競技開始前の点呼時に、競技コートにいない場合や重複出場の了解を取っていない場合は棄権と見なされて失格となるので注意して下さい。
- ⑩団体実戦競技（少年）に出場する選手は、試合の際、番号と一緒に実行委員会が用意した「小学生」（3名）「中学生」（2名）の札を審判員・選手に見えるよう提示してください。

7. 競技の判定

① 躰道本院「公認審判員（研修生含む）」に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。

② 総合優勝の判定については、「第 40 全日本躰道選手権大会」と「第 28 回全国少年少女躰道優勝大会」のそれぞれに総合優勝を設けます。

※ 1) 得点の計算方法は、各種目の入賞得点を「優勝=10点・2位=6点・3位=3点・4位=1点」として計算し、各県地区単位で合計得点の高い順に決定します。

※ 2) 同得点の場合は「優勝→2位→3位→4位」の順で上位入賞者が多い団体を優先します。

※ 「第 40 回全日本躰道選手権大会」
「総合優勝」……………総合優勝旗・賞状・
文部科学大臣賞状及び杯（予定）を贈呈
自民党杯（予定）を贈呈
「総合第 2 位」……………賞状を贈呈
「総合第 3 位」……………賞状を贈呈

※ 「第 28 回全国少年少女躰道優勝大会」
「総合優勝」……………総合優勝旗・賞状を贈呈
「総合第 2 位」……………賞状を贈呈
「総合第 3 位」……………賞状を贈呈

③ 特別賞の決定方法と内容については、大会会長・審判審議長・審判長・副審判長の協議によって選出決定します。

※ 「第 40 回全日本躰道選手権大会」
「最優秀選手賞」……………賞状・楯を贈呈（1名）
「優秀選手賞」……………賞状・楯を贈呈（2名）

※ 「第 28 回全国少年少女躰道優勝大会」
「最優秀選手賞」……………賞状・楯を贈呈（1名）
「優秀選手賞」……………賞状・楯を贈呈（2名）

8. その他

① 昼食の手配……………昼食を希望する団体は平成 18 年 9 月 29 日（金）までに昼食代金（1食 700 円×注文数）を大会出場費納入指定口座に振り込み、別紙の「昼食申込書」を本部大会実行委員長宛に提出して下さい。

③ 宿泊の手配……………各団体で手配してください。

以上